

令和3年度 第3回津市健康づくり推進懇話会会議録

1	会議名	令和3年度第3回津市健康づくり推進懇話会
2	開催日時	令和4年3月17日(木) 午後2時30分から午後4時まで
3	開催場所	津リージョンプラザ3階 リハーサル室(津市西丸之内23番1号)
4	出席者の氏名	<p>(津市健康づくり推進懇話会委員)</p> <p>深井英喜、草川雅之、伊與田義信、松室泰輔、井上真希、小林小代子、朝倉征子、大江由美子、佐橋俊美、川田いくこ、佐藤弘道、小畑直美、中野洋子、飯田志の、藤井浩史、川北仁奈(敬称略)(16名)</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>三重県津保健所 副所長兼保健衛生室長 丸山明美</p> <p>(事務局)</p> <p>津市健康づくり課 担当参事兼課長 梅林ひとみ 津市健康づくり課 担当副参事 米倉一美 津市健康づくり課 保健指導担当主幹 庄山直美 津市健康づくり課 保健指導担当副主幹 鈴木香 津市健康づくり課 保健指導担当 川北美沙 津市健康づくり課 管理担当 浅井未彩希</p>
5	内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 津市第3次健康づくり計画の推進について</p> <p>(1) 事務局より説明</p> <p>(2) 津市第3次健康づくり計画評価及び津市第4次健康づくり計画策定アンケート(成人)の項目について</p> <p>(3) 市長活動報告会(3月25日)に向けて</p> <p>3 津保健所からの情報提供</p> <p>4 その他連絡事項</p>
6	公開又は非公開	公開
7	傍聴者の数	0人
8	担当	<p>健康福祉部健康づくり課</p> <p>電話番号 059-229-3310</p> <p>E-mail 229-3310@city.tsu.lg.jp</p>

1. あいさつ

【事務局】

皆様お忙しい中御参加いただきましてありがとうございます。今回も密を避けるという事でオンラインを併用しての開催とさせていただきます。大変陽気も良くなって外に出歩きたいような気分にもなってきましたが、新型コロナウイルス感染症につきましては、2月中旬2月16日は津市で一日203人、その週は一週間で865人の感染者でそこから高止まりとなっています。今は、週に600人ぐらいの数になっています。昨日は三重県において感染者数が562人、津市は109人の発生という状況でした。三重県においては3月6日にまん延防止等重点措置が終了いたしまして、その後21日までは再拡大措置重点期間になっています。今の状況からこの期間も延長されることを三重県の方で検討されているようですが、今後三連休もあり皆さん移動される時期になりますので、3月末に向けてまた密を避けて混雑した場所とか感染リスクの高い場所を避けることや今まで通りマスクの正しい着用や手指消毒、換気といった基本的な感染症対策を一層徹底することを私達も市民の皆様にも繰り返し伝えていく必要があると思っております。

さて本日御紹介をさせていただきたい委員さんがいらっしゃいます。令和3年11月16日に委員の交代がありました。イオンリテール株式会社イオン津 菅原哲也委員に代わり藤井浩史委員に交代していただきました。藤井委員、自己紹介お願いしてもよろしいですか？

【藤井委員】

皆様初めまして、イオン津店の店長の藤井と申します。昨年9月に三重県の伊賀市にございますイオン伊賀上野店から着任いたしました。前回もお誘いいただいたのですが、社内の外せない会議がございまして不参加となり、今回初めての参加をさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

【事務局】

どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございました。

さて委員の皆様におかれましては今年5月で任期が満了ということで、会議としては本日が最後になります。皆様方には令和2年度、令和3年度と2年間懇話会委員として健康づくりに関する多方面の御意見をいただきましたことを本当に厚く御礼申し上げます。コロナ禍の為、会議の回数も限られていた中で市民の健康づくりを進めていく柱である津市第3次健康づくり計画を推進するため、皆様方に高い問題意識を持って御意見を出していただきました。また、強化目標を中心に、皆様が所属していただいている団体の方でも積極的に取り組みを実践していただき、様々な場所で幅広い世代に向けた健康づくりを展開頂きましたことを大変感謝しています。

この第3次健康づくり計画ですが令和5年度まで、令和6年度に向けた新しい津市第4次健康づくり計画を策定する予定にしています。今後も引き続き皆様の御力添えをいただき健康づくりを進めていきたいと考えていますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

今回もアドバイザーとして、津保健所副所長兼保健衛生室長 丸山明美様に、オンラインにて御参加いただきます。丸山室長どうぞよろしくお願いたします。

最後になりますが、本会議は、津市情報公開条例第23条の規定に基づきまして、公開の対象となりますため、議事の内容につきまして録音をさせていただきます。また、内部資料とするため、会議の様子を撮影させていただきますので御了承ください。よろしくお願いたします。

本来でしたら、ここで草川会長に議事進行をお願いするところなのですが、15分ぐらい遅れられるということですので、こちらの方で進行させていただきまして会議を進めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

2. 津市第3次健康づくり計画の推進について

(1) 事務局より説明

【事務局】

事務局から津市第3次健康づくり計画の推進について御説明させていただきます。

資料1をご覧ください。まずは、令和2年度と3年度の2年間の懇話会の内容をまとめさせていただきました。この2年間はコロナ禍の影響で、**第1回の会議が書面会議になり**、その後Webとの併用で会議の回数も前年度が5回、今年度は3回という変更になっています。例年、津まつりと同時に開催される健康まつりも皆様と一緒に啓発させていただいていましたが、2年連続で中止となりそのような啓発の機会もなくなりました。その中で津保健所長様によるコロナの勉強会の実施、コロナ禍における生活の変化や健康づくりに影響を及ぼす課題と対策についてということを世代ごとに協議いただきました。また、令和3年度はコロナワクチン接種に対する正しい情報を市民に啓発することが最優先であると考え、三重病院谷口院長による勉強会を開催し、その内容をチラシにまとめたものを委員さんから各所属や市民に向けて啓発していただくことができました。またその内容を基に、広報津9月16日号の紙面で各家庭に向けた情報提供へとつながっていきました。

資料の1の裏面をご覧ください。津市第3次健康づくり計画の推進体制です。10分野の目標があり、さらにその中でも取り組みを強化していく強化目標が6つあります。懇話会の意見を反映して特に力を入れて取り組めたことを下段に記載しました。

「運動」の分野では、意識して体を動かしている人が就労世代や20代・30代に少ないということから、親子遊びのチラシの作成、市内のちょい歩きマップの作成、津市健康づくり実践企業に向けた健康情報「健康ナビ」によって職場で簡単に取り組める体操等を啓発させていただきました。

「生活習慣病・がん」の分野におきましては、令和元年から取組を進めてきた「減塩」を推進していく媒体として、減塩紙芝居プロジェクトチーム主導のもと減塩啓発紙芝居を作成しました。子どもの頃から楽しんで減塩に取り組めるよう、子どもから家庭に広がっていくように、ゲンエンジャーの必殺技として減塩の方法を分かりやすく伝えています。減塩紙芝居プロジェクトチームに入っていた委員の皆様大変ありがとうございました。

「感染症・熱中症」では、感染症拡大予防のために一人一人ができることを伝え、感染リスクを減らせるよう啓発することができました。

今後は、減塩啓発紙芝居と共にぬりえ・テーマソング・シール等を作成し、保育所や学校、保健センターの事業、またホームページへの掲載等で活用して幅広く市民に届けることができるように検討を進めていきたいと思っております。実際に小畑委員様に御協力いただき、津保育所施設所連絡協議会の保育所には紙芝居の御案内を既に通知させていただくことができています。また、紙芝居の枠も購入し貸し出し可能となっていますので、是非とも委員さんの所属においても啓発を進めていただきますようお願いいたします。

(2) 津市第3次健康づくり計画評価及び津市第4次健康づくり計画策定アンケート（成人）の項目について事務局より説明

【事務局】

それでは引き続き津市の状況を資料2で説明させていただきます。こちらは、津市第3次健康づくり計画にも掲載している津市の状況について現時点で確認できる最新のデータを一部抜粋したものになります。

まず人口の状況です。人口は平成17年まで津市は増加していましたがその後は減少しています。年齢3区分別人口構成の推移は一番上のオレンジ色が生産年齢人口、青色が年少人口、灰色が前期高齢者人口、黄色が後期高齢者人口となっていますが、生産年齢人口と年少人口が減少し後期高齢者と前期高齢者の人口が増えている傾向となっています。

出生数の経緯になります。こちら10年前に比べて約20%、600人弱出生が減っています。

合計特殊出生率の推移になります。津市は青色の線になりますが、津市の方は三重県・国より少し低く減少傾向の状態です。

また健康寿命につきましては、令和元年度になりますが、男性は三重県とほぼ同じ、女性は三重県より下回っています。ただし、令和元年度の全国から見た三重県の健康寿命は男性で全国16位、女性は全国1位という結果です。障害期間です。こちらは男性・女性共に三重県を上回っている状態です。

次に要介護認定率の推移となります。津市はこの青色の線になりますが、年々増加している様子が見られます。三重県と国よりも上回る数値で推移している状態となっています。要介護認定別割合、こちらは令和元年9月の月報になりますが、津市は三重県・国よりも要支援1の割合は少なく、要介護4と5の割合が三重県・国よりも少しでありますが多い傾向がみられました。

また、塩分摂取量の状況になりますが、調査がされている平成28年度までになっていますが、平成23年と28年を比べると減少しています。ただし目標摂取量の男性7.5グラム、女性6.5グラムには達していないという状態になっています。

医療費・健康診査の状況、受診件数です。こちらは医療費の津市国民健康保険者分になりますが、受診される方で1位が高血圧症、2位が糖尿病、3位が脂質異常症となっています。平成26年に3位の糖尿病が2位に上がっている状態です。また医療費では、1位が糖尿病、2位が慢性腎臓病、3位が統合失調症という事で、平成26年度と比べて糖尿病が1位に上がってきているという状態がみられています。

次に死亡別割合になります。令和元年度につきましては1位が悪性新生物、2位が心疾患、3位が老衰という結果です。平成26年と比較すると、老衰の順位が5位から3位に上がっています。年齢調整死亡率を見ると、赤い矢印の部分で三重県よりも高い割合の疾患となっています。男性は脳血管疾患、交通事故、高血圧が、女性は脳血管疾患、高血圧が三重県よりも高い状態になっています。また平成22年から26年の平均と比較すると増加しているのは男女ともに肝疾患という状況になっていました。

生活習慣病死亡率の割合の比較の表です。津市の男性は女性の約1.7倍、生活習慣病死亡率が高いという状態になっています。また三重県よりも津市は男性・女性共に生活習慣病死亡率が上回っています。自殺死亡率は、男性は女性の2倍以上になっています。津市の自殺死亡率の目標値は12.3ですので、まだ目標値には達していない状況となっています。

津市の状況は以上となります。

【事務局】

只今、健康づくり推進計画の進捗状況、統計的な津市の状況を皆さんにご覧いただきましたが、

今までの説明の中で、御質問、御意見、御感想はございますか？

では、津市第3次健康づくり計画評価及び津市第4次健康づくり計画策定アンケート（成人）の項目について事務局より説明させていただきます。

【事務局】

それでは資料3、津市第3次健康づくり計画指標の評価に移りたいと思います。

平成27年の調査データから令和2年の最新の数字で三重県の進捗率の評価の方法に照らし合わせて評価しています。進捗率が100%以上は達成、進捗率が5%未満は悪化として、A、B、C、D、Eという形で評価をさせていただいています。

こちらがA及びB、つまり達成、ほぼ達成したという項目になります。達成したという項目が15指標、ほぼ達成というのが7指標となっています。たばこ、アルコール、歯とお口の健康、生活習慣病・がん、休養・こころ、仲間づくり、感染症・熱中症の分野がAとBの項目になりました。次にC、変わらないという指標は3指標となっています、こちらがたばこの分野、育児期間中の両親の喫煙率、男性が変わらないという結果です。また、特定健診の受診率も変化なしという形になっています。次にD分野、悪化したという項目は12指標ありました。BMI25以上の割合、肥満と判定される方の割合が男性・女性共に増えました。また、津市のがん検診を受診する人の割合も平成27年度の基準値と比べると悪化しました。この地域で子育てをしたいという親の割合、こちらも元は98.3%という高い数値だったのですが、減少しましたので悪化、また、ヘルスポラティアが行う地域活動の回数と市民参加人数、こちらもコロナ禍の為、活動回数自体は食生活改善推進員では増加していますが、参加者人数は減少しています。最後に熱中症による救急搬送者数、こちらも搬送者数が指標になっていますので、悪化という事になります。がん検診の受診率につきましては、平成27年と平成28年以降が国へ報告するための算出方法が変わりましたので評価ができない状態になっています。国と三重県と市が比較できるがん検診の受診率がこちらになります。胃がん検診は50から69歳、肺がん検診は40から69歳という年齢の中で受けられた方です。一番左が津市、真ん中が三重県、右が国となっています。これを比べると津市は平成27年から令和2年の胃がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診とも経年的に見て、国や三重県に比べて高いという状況がみられています。ただこの数字が津市全体の数字ではなくて、津市のがん検診を受けた方だけの数字を反映していますので、職場で受けていただいている方はこの数字に反映されていません。がん検診50%の目標は職場で受けた人の数も含めたものとなっていますので、なかなか現状の数字を知る事が難しいという状況です。以上が評価の指標となります。

すみません、今草川会長が到着されましたので、ここでバトンタッチしたいと思います。先生よろしくをお願いします。

【草川会長】

いろいろ重なりまして遅れました。申し訳ありません。どういう御挨拶を最初にされたのか分からないのですが、第6波を下げる速度がとても遅いように思います。市を含めてまだ上がったたり下がったり、全体で下がる傾向ではありますけども、まん延防止等重点措置の強化措置は解除されて、できることが多くなったとは思いますが、今まで通りのコントロールした暮らしを続けていただいていると思います。また、最後のところで懇話会へのコメントを保健所の丸山室長から聞かせていただいていたのと同時に、感染症の現状もお話いただけたらと思います。2年間の任期として、津市第3次健康づくり計画をどのような形で行ってきたかを3月25日に市長さん

に報告します。それと次期第4次の計画に向けて私たちの各所属団体、あるいは生活者の目線で考えていくという報告になるかと思えます。この2年間、現委員さん、ありがとうございました。場合によっては長く続けていただいて今後の活動も続けていけたらと思えます。がん検診の実績のお話をいただいたと思うのですが、国保の人が何割なのかはわかりますか。

【事務局】

現在、手持ちの数字としては持っていません。

【草川会長】

全体の何割は社保の人が外れがちになるのですが、国保の人が何割というのもある程度把握して頂いて僕らには教えていただいているのですが、この懇話会でも教えていただけたらと思えます。

次の項目、津市第3次健康づくり計画の評価が終わったところで、津市第4次健康づくり計画策定アンケート（成人）の項目について事務局より御説明頂きたいと思えます。

【事務局】

資料4、津市第4次健康づくり計画策定アンケート（成人）案の説明をさせていただきます。

アンケート調査を令和4年7月頃にさせていただく予定です。来年度はアンケート調査を行い、結果を見ながら計画を策定させていただく年度になるかと思えます。このアンケートの対象者は無作為抽出で選んだ20歳から78歳までの市民の方3000名です。調査の方法ですが、送付は郵送、返信は郵送またはインターネットで回答いただく予定です。今回29項目を調査することを検討しています。問1から問29までを挙げていますが、問の上に四角く囲っている部分に関しましてはアンケート項目に選定した理由を記入させていただいています。今回は健康づくり計画の計画指標というものが元々決まっていますので、その指標に入っていない項目をピックアップし説明をさせていただきます。問1「あなたは自分が健康だと感じていますか。」こちらは三重の健康づくり計画の計画指標の全体目標として挙げられており、三重県と比較するためにあげています。問6「夕食後に間食をとることがありますか。」という項目も入れています。こちらはBMI2.5以上の割合が男性・女性共に増加している傾向があるためです。問7「外食や食品を選ぶときにエネルギーや食塩相当量などの栄養成分表示があれば参考にしますか。」という質問です。こちらは第3次健康づくり計画で減塩を強化目標とし、啓発の中で伝えていること、食品成分表示をこれからも啓発していきたいと思っているため項目を入れています。問10「普段たばこの煙やにおいが気になる場所はどこですか。また禁煙したいと思っていますか。たばこを吸うときに気をつけていることがありますか。」というこの項目になりますが、こちらは受動喫煙防止法が策定されたことによって喫煙環境の変化が以前と変わってきていると思えますので、その変化がどこまで進んでいるかということを確認するために入れています。問14「多量飲酒とは一日にどれくらいの量を飲むことだと思いますか。」という質問です。こちらは津市第3次健康づくり計画策定時に適正飲酒量への知識が不十分であるということが調査結果であったため、知識がどのように変化しているかということを知らせていただきたいと思います。問16「定期的に歯科検診を受けていますか。」という項目も入れており、こちらも津市第3次健康づくり計画策定時に残存歯数の調査の中で三重県と国とを比較した時に津市の住民の方の残存歯が少なかったということが傾向として見られましたので、こちらを質問項目として挙げています。問19「あなたの身長と体重を教えてください。」という質問と、「今の体重はあなたにとってちょうど良い体重だと思いますか。」という質問になります。

こちらはBMI 25以上の方の割合を算出するための質問と、体格に対する意識を質問する内容になっています。これはBMI 25以上の割合が男性・女性共に増加しているために項目として残しています。問20「イライラやストレスを感じることはありますか。」また、その項目に「感じている」と答えた方に「イライラやストレスを解消できていますか。」という質問、問21「ストレスの解消法を教えてください。」という質問です。こちらはコロナ禍の影響によってさまざまなストレスを感じる社会になってきていると思いますので、そちらを考慮した質問項目となっています。問29「フレイルという言葉を知っていますか。」、こちらはフレイル予防事業を津市としても展開しており、フレイルという言葉の周知活動にも力を入れているため調査の中に入れていたと思います。以上です。

【草川会長】

ありがとうございました。何か会場から、Web参加の方々からご質問ないでしょうか。手を挙げていただいて、Web参加の方々もアクションじゃなくても実際に画像上で手を挙げていただければと思います。特にないでしょうか。

挙手がないようなので、深井先生お願いします。

【深井委員】

そうですね、個別には細かいところはお送りしようかなと思っているのですが、初めて今回このアンケートを目にしているのので、コメントが難しいのですが、3000名抽出というのが結構大きな規模の調査をされるのと、郵送なので結構なお金がかかるのですよね、今伺っていると質問項目を単純に集計するような、コンセプトかなと思ったのですが、何か例えば解析等で仮説、調査の言葉でいうと検討仮説のようなものはありますか。こういったものを明らかにしよう、決めていこうというものは。

【事務局】

そういう学術的なことはよく習得しておりませんもので、なかなか仮説を立ててということは今のところありません。こういうことが考えられるのでこの項目を残しますということは考えて進めています。

【深井委員】

あらかじめ三重県の方とかその辺から決まった項目というのは指示されているのですか。

【事務局】

この質問を聞きなさいということを決められてはいません。分野別に方向性はあります。

【深井委員】

方法論としては単純に項目を集計するだけですか。ひょっとしたらというのに関してクロス集計的なことはされることがありますか。

【事務局】

この第3次健康づくり計画で強化目標としたところが4分野あります。この部分は力を入れて関

係団体の方にも声掛けをさせていただきながら進めてきましたので、指標がどれくらい上がっているのか、男女や年齢別等でクロスできる分ではしていきたいとは思っています。先生に御相談させていただけたらと思います。

【深井委員】

どこまで入れるのかなというのはあるのですが、指標は結構難しくて年齢集計はなかなか過去のデータと今年取ったデータを比較しても意味が出てくるかという点と出てこないのですね、やっぱりその他に性別であったり年齢であったり、家族構成であったりとかいろいろな要素をコントロールした上で分析、比較しないとなかなかその項目が上がった、下がったというのは厳密に言うと統計学的には言えないので、せっかく3000名という非常に大きなサンプルをとった調査なので、その辺りを今後検討していただければなと感じます、このような形で比較できるともって議論がしつかりとできると思います。質問項目を見ると一つだけ、家族構成を出来たら入れていただけないかなと思います。健康問題とか、食生活や生活習慣に関して家族構成というのは結構大きなインパクトのある材料ですので、今回の項目の中に家族構成がないので、入れていただければなと思います。ありがとうございます。

【草川会長】

ありがとうございます。実際にアンケートを配布するのはいつでしたでしょうか。

【事務局】

7月を予定しています。

【草川会長】

そうするとあと2か月ぐらいはご相談できるのですね。よろしくお願いします。

あと他にございませんでしょうか。僕の方からも申し述べてよろしいでしょうか。四角枠書きで、こういう意味合いでこれを入れましたというのは僕には伝わるのですが、アンケートを受ける方にはきっと伝わらない訳で、きっと今後の健康づくりというのは大規模災害や感染症で行動制限が掛かった時が起るかということも含めて予想して対応していかなくちゃいけないのだろう、計画の中にはきっとそういうところが入っていると思うのですね。そうすると今回大規模な社会的実験が行われたような行動制限が掛かったわけですから、今回の感染症の行動制限によって皆さんの生活上の食べ物、食べ方とか運動の仕方とかメンタルヘルスとか、あるいは嗜好品の変化のようなものも項目としてあった方がいいのではないかと思います。以上です。

【事務局】

ありがとうございました。計画策定アンケートに追加すべき項目、津市の健康課題と感じてみえており、アンケートには是非この項目を入れたいと思われる項目がありましたら、今回資料と共に事務局から送付のあったFAX送信票に御意見を記入いただき事務局に送付いただきますようお願い致します。追加指標項目がないという方もいらっしゃるかもしれませんが、その場合は書いていただかなくても結構です。事項書の(2)2年間の活動を振り返って感じたこと、発信できたことについては御記入をよろしくお願いします。締め切りは3月22日の火曜日とさせていただきます。

(3) 市長活動報告会（3月25日）に向けて

【草川会長】

ありがとうございました。市長活動報告会に向けて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

3月25日金曜日15時から30分間、津市長に向けた懇話会の活動報告会を予定しています。2年間の取り組み内容の報告、市民の健康づくりをさらに推進していくための御意見等を直接津市長にお伝えいただく報告会となります。市長活動報告会に委員の皆様が御出席いただけると良いのですが難しいため、草川会長に相談させていただき懇話会から代表で草川会長、小林副会長、佐藤委員、松室委員の4名の方に御出席いただくことになりました。先程資料1で御説明をさせていただきました2年間のまとめの内容がメインになるとは思いますが、2年間の活動を振り返っていただいて市民に発信できたことや、津市長に伝えたいことなど、御意見をこの後いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【草川会長】

これはグループも何もなしにそれぞれが順次お答えいただくと良いのですが時間がないので、市長報告会には出席しないが、是非ともこれを言いたいという方がおられましたら、会場の方はほとんど出ていただくような形ですので、Web上の方でいかがでしょうか。

ZTV川北さん聞こえていますか。職域の普段のお仕事を通して懇話会の仕事について何か周知できたこと、こういうことができたな、とか今後次引き継ぐからにはこんなことしていただきたいなということがございましたら、一言いただけると、と思うのですが。

【川北委員】

2年間ありがとうございました。この2年間を通して自分の健康のことであつたりこういう活動をされていることを知って今回得た知識をたくさん広めていきたいなと思ったのですが、弊社の方ではZTVチャンネルであつたり行政放送を通して地域の方に発信できる機会がありますので、またそういう機会を通して懇話会の活動を市民の皆様にお伝えできればなと思いました。ありがとうございました。

【草川会長】

ありがとうございました。戸木小学校の飯田さん、いかがでしょうか。この2年間の活動で自分たちの仕事場、或いは職域団体に関しても何か働きかけとか広げていくことができたでしょうか。

【飯田委員】

すみません、なかなか会に出席することができず、深く関わる事が出来なくて申し訳なかったのですが、資料等いただいたことによってマイレージ事業のことを知ったり、コロナの予防方法のプリント等を先生方にお話しする機会もできまして、普段の保健室からの発信よりも健康に一步近づいたようなお話で関わる事ができたので、関わらせていただいて良かったです。ありがとうございました。

【草川会長】

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。イオン津店の藤井様、一言いただけますでしょうか。

【藤井委員】

着任しまして前任の菅原から一通り引継ぎを受けまして、この2年間の取り組みに関してはイオンとしてどこまで地域の健康づくりに貢献できたのかというのは不明確であるのですが、売り場の方で減塩の商品に表示を付けたりとかそういうことを実施させていただくことで、御客様からの反応もあったと聞いておりますので、また今後機会があればできる限り地域の御客様に貢献できるような取り組みを新たにしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ致します。

【草川会長】

ありがとうございました。

「FAX通信票」を使っていただいて、事務局まで送付をお願いします。

3. 津保健所からの情報提供

【草川会長】

今日は最後の会議ですけれども、津保健所副所長兼保健衛生室長 丸山明美先生、この2年間に関することと今日のことと津市の感染状況等をかいつまんでお話しいただき、感想もお聞かせいただけたらと思います。よろしくお願ひします。

【丸山副所長】

草川会長ありがとうございます。

コロナにつきましては皆様の御協力いただきましてありがとうございます。状況を申し上げますと3月16日現在で三重県全体が1日に562名、その内津市は109名の新規の感染者が出ています。病床占有率につきましては、24.5%、多いときは50%を超えていました。重症の病床占有率は15.4%となっております。デルタ株は重症化しやすいと言われておりますが、オミクロン株はデルタ株に比べまして特徴は今保健所の方で接触者調査をさせていただいておりますが、患者さんが一人見つかりますと、もう既にその周りの人は感染をしているという状況で、非常に感染が早くて強いです。御家族の中でどなたかお一人感染者が見つかるとその御家族皆さんがどうしても罹ってしまうという状況です。ですので、数も凄く増えているといった状況です。そして今クラスターの方も多発しています。どうしてもマスクを常時付けていることが難しいといったところからクラスター多発していて、高齢者の施設様ですとか、小さなお子様がみえる所が三重県内でも多い状況です。やはり対策は十分皆様とっていただいておりますが、引き続き手洗いをしっかりしていただきたいのと、濃厚接触者にならないということが大事だと思います。濃厚接触者の定義はと言いますと、マスクを着けていない、15分以上の接触がある、1m以内の近い接触があるといった条件が重なりますと濃厚接触者になりますので、そういったなるべく密にならないような暮らしを心がけていただくと言ったことが今後も引き続き大事になってくるかと思ひます。

健康づくりにおきましては、色々と津市健康づくり計画に基づいて進めていただいております。ちょっと思ひましたのは、BMI25以上になった指標が悪化しているというのが先ほど報告で伺いましたのと、やはりがん検診の受診率、受診して頂く割合も少なくなりました、それから子育てをしたいと思ひる割合、仲間づくりですね、ヘルスポランティアの参加人数とか、コロナの関係

もあります^が、そういったところが悪化指標という所で御報告いただきました。コロナの患者様の調査もさせていただいておりますと、やはりBMI 30以上といった方ですとか、元々の基礎疾患で高血圧や糖尿病^{など}をお持ちの方が重症化のリスクとなっています。ですので、コロナの為にも、日頃の自分の健康管理の為にもやはり基礎疾患の管理がすごく大事だなと思いました。それから日頃の健康づくりというのがやはりお一人お一人大事だなという^{こと}を改めて考えさせていただきました。そして、コロナがありましたので、日頃の健康づくりはもちろんです、人との繋がりですとか、仲間づくり、^{こころ}の健康づくりというのもすごく大事だなと思っておりますので、運動とかストレス対策、^{人との}繋がり、こころの健康づくりというのをみんなで進めていきたいなと思っております。この懇話会の強みだと思うのは、皆様お一人お一人がすごく明るく積極的に御意見をいただきます。やはり健康づくりを続けていこうと思えますと楽しいということが大事ですし、一日では健康づくりはできませんので長く続けていただく、こういった懇話会の仲間づくり、そして懇話会みんなの委員様からの発信をそれぞれのところでしていただくということ所で津市の健康づくりがますます盛り上がっていくのだと思っております。ゲンエンジャーのお披露目会もこの前楽しく^{拝見}させていただきました。今後も津まつりとかいろんなところで盛り上がっていくのだろうなというところで楽しく期待しております。今後とも皆様よろしくお願ひします。ありがとうございました。

4. その他連絡事項

【草川会長】

ありがとうございました。そうしましたら連絡事項等^を事務局の方から願ひします。

【事務局】

懇話会の活動紹介をケーブルテレビ 津市行政情報番組「まるっと津ガイド」の中の「健康づくりタイム」で、4月16日～4月30日に放送予定です。「元気戦隊ゲンエンジャー」を作成した内容が配信される予定ですので、ぜひこちらも御確認ください。

^{なお}、次年度の懇話会委員の選出依頼を所属団体に向けて3月末に通知させていただくのでよろしく願ひします。

今後とも、健康づくり推進のための啓発活動に御協力いただきますようよろしく願ひいたします。2年間ありがとうございました。

【草川会長】

本当に委員の方々2年間ありがとうございました。